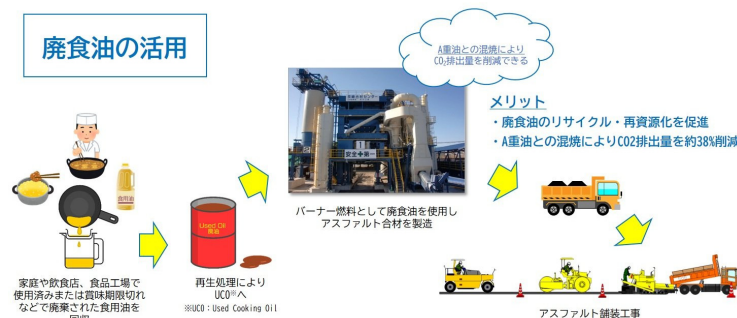


廃食油を利用したローカルSDGs貢献の取り組みに着手

日本道路㈱は、長崎合材センター(日本道路㈱・㈱平山組・㈱友建設共同企業体、長崎県大村市)において、アスファルト混合物の製造過程で使用される燃料をA重油専焼から、A重油と廃食油(UCO)の混焼に転換しました。A重油とUCOを6:4の割合で混焼することにより、約38%のCO₂排出量削減が可能となります。この取り組みは、2025年までに全国の20工場でも導入予定。長崎県内のUCOを燃料とすることで、CO₂排出量削減だけでなく、化石燃料の燃焼により発生する酸性雨や大気汚染の原因となるSox(硫黄酸化物)・Nox(窒素酸化物)等の排出量削減、地域資源の地産地消、地域エネルギーシステムの構築など、SDGsの目標を地域の経済の仕組みとして回すことを目的とした「地域循環共生圏(ローカル

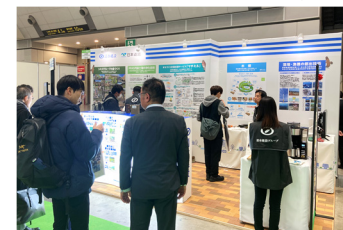
SDGs)」への貢献につながると考えており、今後積極的に推進していきます。

廃食油の活用



グリーンインフラ産業展2024に出展

日本道路㈱は、2月20～22日に東京ビッグサイトで開催された「グリーンインフラ産業展2024」に、清水建設㈱と共同で出展しました。清水建設の「グリーンインフラ+ (PLUS)」のコンセプトを基に海辺、都市、森におけるさまざまなニーズに対応する幅広いグリーンインフラ技術を紹介。当社は、間伐材や木廃材を



主原料にした環境性能重視型の木質成形舗装ブロック『木煉(もくれん)』を展示しました。ご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました。

研究開発発表会を初開催

日本道路㈱は1月18日、東京都港区の本社で「2023年度研究開発発表会」を開催しました。生産技術本部技術研究所、技術部で実施している開発テーマや共同研究などの研究開発業務についての成果を発表するもので、当社として初めての開催となりました。各支店からのWEB参加も含め、役員や本部長など40人が参加し、技術研究所の社員10人が脱炭素社会を見据えたアスファルト舗装や廃材の有効利用などの研究内容を発表しました。



快適歩走の新動画公開

「快適歩走」ご利用者の声をまとめた新動画を公開しました。「快適歩走」を歩いたり、走ったりしていただいた方を対象に実施したアンケート調査をもとに制作しています。ご回答いただきました皆様、ご協力いただきありがとうございました。



『NICHIDO VIEW』Vol.9について

今回は4月から運用が始まった「土浦テクノBASE」についてご紹介しました。「土浦テクノBASE」の設計コンセプトは新たなイノベーションを生む空間を目指した「LINK」。“つながり”を大切にしたい建物です。地域・周辺環境との「LINK」、従業員・技術との「LINK」、社会・未来との「LINK」、あらゆるものと繋がることで当社の新たな価値を生み出す、また当社の「技術力」を継承する人材を育成する拠点として期待されています。併設されるショールームでは当社の90余年の歴史から最先端の舗装技術をご紹介・ご見学いただけるようになっています。是非一度足をお運びください。

(未来戦略ワーキンググループ)

NICHIDO VIEW



2024年
4月1日
運用開始

Vol.9

特集 ついに誕生！「土浦テクノBASE」

～社員、顧客、地域につなげる情報発信拠点～



ついに誕生！

土浦テクノBASE

工事概要

- 工事場所：茨城県土浦市おおつ野一丁目4番
- 施主：日本道路株式会社
- 設計・監理：清水建設株式会社一級建築事務所
- 施工：清水建設株式会社東京支店茨城営業所
- 外構施工：日本道路株式会社
- 工期：2023年1月13日～2024年1月31日
- 敷地面積：41,434.44㎡
- 建築面積：6,399.01㎡

- 建物規模
- [研究研修棟] S造3階建て延べ3,777.47㎡
- [宿泊棟] RC造3階建て延べ1,761.61㎡
宿泊室52室
- [整備棟] S造2階建て延べ1,140.93㎡
- [機械格納庫] 骨格膜構造・S造平屋建て
3,191.83㎡

株式会社 川澄・小林研二写真事務所



BELS最高評価、ZEB取得の次世代型施設



日本道路
代表取締役社長
石井 敏行

このたび、研修・研究施設、機械センター、試験ヤードからなる「土浦テクノBASE」の建設が竣工し、4月から運用を開始いたしました。建築工事は、設計・施工の清水建設株式会社様をはじめ、多くの協力業者の皆様、近隣の皆様のご理解、ご協力のもと運用開始にいたしました。厚く御礼申し上げます。

研修施設には宿泊棟を併設し、社員教育の充実化、グループ会社等の技術力向上に活用していきます。また、当社の舗装技術、歴史など幅広い情報を紹介するショールームも併設した情報発信拠点としても期待しています。研究研修棟は太陽光発電・地中熱ヒートポンプなどを活用し、BELS（建築物省エネルギー性能表示制度）に基づく最高評価・星5つに加え、「ZEB」※を取得しており、他にも電気自動車（EV）の急速充電設備を設置するなど、環境に配慮した次世代型施設となっています。また、BCP対策として、停電時に備え発電設備も設置しています。

「技術の日本道路」としてさらなる発展を目指してまいりますので、今後ともご理解、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

※Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称で「ゼブ」と呼びます。

創立95年を迎える前日の3月9日、春の日差しがきらめく中で開所式を執り行いました。当日は日本道路グループ関係者のほか、土浦市長をはじめ、地元関係者の皆様にもご出席いただきました。

土浦テクノBASE開所式



研究研修棟1階ショールーム

アスファルト舗装のリサイクル循環と製造プロセス、産官学と共同開発したプロジェクト、日本道路が100年間で培ってきた実績と信頼の歴史など、弊社の技術をギュッと詰め込んだショールームとなっています。2階の歴史コーナーでは、昔の作業着やヘルメットも展示しています。

屋外エリアには、快適歩走（かいてきほそう）や木煉（もくれん）などの特殊舗装を実施しており、実物に触れたり、歩いて体感することができます。

屋外エリアの特殊工法

